

三菱インバータ セールスとサービス

No. 166

汎用インバータFREQROL - E500シリーズ バージョンアップのお知らせ

平素より弊社汎用インバータをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
FREQROL-E500 シリーズインバータにて、より使い易さの向上を図るためバージョンアップをしますのでお知らせします。

記

1. 対象機種

- ・FR-E540-0.4K ~ 7.5K
- ・FR-E520-0.1KN ~ 7.5KN

2. バージョンアップ内容

より使い易さの向上を図るため、以下の機能を追加します。

[FR-E540-0.4K ~ 7.5K]

No.	追加項目	内容	効果
1	通信動作時アクセス先選択機能	Pr.342 を追加	内蔵オプション通信運転にてパラメータの書き込みを行った場合、E ² PROM へ書き込みするか、RAM へ書き込みするかを選択できます。
2	通信用内蔵オプション装着時のエラー検出機能	Pr.500 ~ Pr.502 を追加	通信用内蔵オプション(FR-E5NC)装着時において通信回線異常の検出タイミングが変更でき、エラー発生時には、インバータ本体の動作選択ができます。

[FR-E520-0.1KN ~ 7.5KN]

No.	追加項目	内容	効果
1	通信動作時アクセス先選択機能	Pr.342 を追加	通信動作にてパラメータの書き込みを行った場合、E ² PROM へ書き込みするか、RAM へ書き込みするかを選択できます。
2	出力欠相保護選択	Pr.251 を追加	インバータの出力側(負荷側)3相(U,V,W)のうち、1相が欠相するとインバータ出力を停止させる出力欠相保護(E.LF)機能を無効にさせることができます。

詳細は裏面の「5. 追加機能の詳細」を参照ください。

3. 識別方法

本バージョンアップ品は、インバータ本体の定格銘板及び梱包の銘板に記載されている SERIAL(製造番号)が下記の記号以降となります。

(梱包銘板の SERIAL(製造番号)はインバータ本体の定格銘板の SERIAL(製造番号)9文字のうち上位6文字を表示します。)

形式	SERIAL(製造番号)
FR-E540-0.4K、0.75K	U 1 8
FR-E540-1.5K	W 1 8
FR-E540-2.2K	V 1 8
FR-E540-3.7K	U 1 8
FR-E540-5.5K、7.5K	M 1 8
FR-E520-0.1KN	V 1 8
FR-E520-0.2KN、0.4KN	W 1 8
FR-E520-0.75KN	X 1 8
FR-E520-1.5KN、2.2KN	V 1 8
FR-E520-3.7KN	T 1 8
FR-E520-5.5KN、7.5KN	U 1 8

2001年8月生産分
1 8
記号 年 月 管理番号
SERIAL(製造番号)

インバータ本体の定格銘板に記載されている SERIAL(製造番号)はこのように記号(アルファベット)1文字と製造年月2文字、管理番号6文字で構成されています。

4. 製品切替時期

2001年8月生産分より順次反映します。

発行 日付	2001年9月	件 名	汎用インバータFREQROL-E500シリーズ バージョンアップのお知らせ	三菱電機株式会社名古屋製作所 〒461-8670 名古屋市東区矢田南5-1-14 TEL(052)721-2111 大代表
----------	---------	--------	--	---

5. 追加機能の詳細

(1) 通信運転時アクセス先選択機能の追加

FR-E540-0.4K~7.5Kの通信オプション運転またはFR-E520-0.1KN~7.5KNの通信運転にてパラメータの書き込みを行った場合、E²PROMへ書き込みするか、RAMへ書き込みするかをPr.342(E²PROM書き込み有無)で選択できます。パラメータを頻繁に変更する場合は、RAMへ書き込んでください。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値	内容
342	0,1	1	0	0:E ² PROMへ書き込み 1:RAMへ書き込み

(2) 通信用内蔵オプション装着時のエラー検出機能の追加

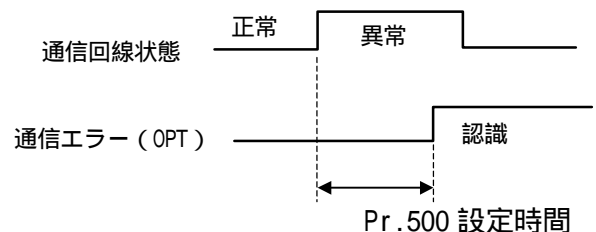
通信運転時に異常が発生した場合のインバータ本体の動作がPr.500(通信エラー実行待ち時間),Pr.501(通信異常発生回数表示),Pr.502(異常時停止モード選択)で選択できます。

Pr.500「通信エラー実行待ち時間」

通信回線異常発生から通信エラーまでの待ち時間を設定できます。

通信回線異常が発生し、Pr.500の設定時間を経過しても正常状態に復帰しない場合、通信エラーと認識します。設定時間中に正常な通信として復帰した場合は、通信エラーと認識せずに運転を継続します。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
500	0~999.8s	0.1s	0s



Pr.501「通信異常発生回数表示」

通信異常発生累積回数を知ることができます。0を書き込みますと、この累積回数が消去されます。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
501	0	1	0

Pr.502「異常時停止モード選択」

通信回線異常または通信用内蔵オプション自体の異常が発生した場合のインバータ動作が選択できます。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
502	0、1、2	1	0

異常内容	Pr.502 設定値	Pr.500 経過後エラー認識			異常解消時 動作状態
		動作状態	表示	異常出力	
通信回線異常 (E.OPT)	0	フル停止	E.OPT点灯	出力する	停止状態継続
	1	減速停止	停止後E.OPT点灯	停止後出力する	停止状態継続
	2	減速停止	停止後E.OPT点灯	出力しない	再始動
内蔵オプション異常 (E.3)	0	フル停止	E.3点灯	出力する	停止状態継続
	1	減速停止	停止後E.3点灯	停止後出力する	停止状態継続
	2				

(3) 出力欠相保護無効パラメータ(Pr.251「出力欠相保護選択」)の追加

インバータの出力側(負荷側)3相(U,V,W)のうち、1相が欠相するとインバータ出力を停止させる出力欠相保護(E.LF)機能を無効にさせることができます。

インバータ容量に比べモータ容量が極端に小さい時(目安として出力電流がインバータ定格電流値の25%以下)で運転すると出力欠相保護が動作する場合がありますので、こうした時は出力欠相保護なしを選択してください。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値	内容
251	0,1	1	1	0:出力欠相保護なし 1:出力欠相保護あり